

経営体の概要

- ・所在地:島根県浜田市
- ・経営体名:(株)F農産
- ・栽培作物・作付面積:水稲22ha、施設23a(ブドウ)、
露地野菜等(ゴボウ、原木シタケ)
- ・従業員数:5名(雇用3名) (令和6年5月現在)

導入技術

- ・RJ700 ((株) A社製)
全幅111cm、刈幅70cm、重量358kg、最大傾斜45度、リモコン
- ・ARC-500 ((株) K社製)
全幅81cm、刈幅50cm、重量124kg、最大傾斜40度、リモコン
- ・MR-300 ((株) W社製)
刈幅30cm、重量16kg、平坦～緩傾斜地用、電動ロボット

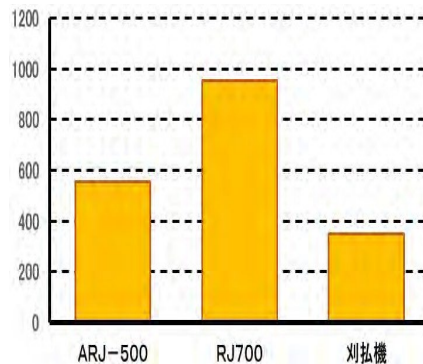


図1 各草刈機のほ場作業量

単位m²/h。ARC-500は法面肩部、刈払機は内畦。
島根県農業技術センター調査

導入経緯

- 当該法人は山間地に所在しており、水田畦畔法面の管理に多くの労力が必要で、他の作目の作業とも競合することから、令和元年にARC-500、令和2年にRJ700を導入した。

取組の特徴・効果

- 法面草刈作業の能率が刈払機に比べて3倍近くまで高まり(図1)、労力競合が緩和された。また、作業者の身体作業負担も軽減された。
- この法人では、小型で小回りの利くARC-500は畦畔天面や肩部等に使用。さらに果樹園にもMR-300を導入して、全体の軽労化を図っている。
- 複数法人の現地調査に基づく試算では、刈払機に対してRJ700が経費的にも優位になるには、概ね年間110時間以上の稼働時間が必要と算出された。